



公益社団法人
日本ナショナル・トラスト協会
The Association of National Trusts in Japan

第 34 回

ナショナル・トラスト 全国大会

2016 年 12 月 4 日 (日)

【会 場】日比谷図書文化館 B1F コンベンションホール
【主 催】公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会
【後 援】環境省

報 告 書

ナショナル・トラスト全国大会は、多くの皆様にトラスト活動の取り組みについて知っていただくとともに、支援者の方やトラスト活動を行っている団体同士の交流や情報交換を主な目的として開催しています。

- 【日 時】2016年12月4日(日) 10:30～17:00
 【会 場】日比谷図書文化館B1F コンベンションホール
 (東京都千代田区日比谷公園1-4)
 【主 催】公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会
 【後 援】環境省
 【参加者数】[第一部] 117名 [第二部] 54名



第一部 B1F コンベンションホール

- 10:30 開会挨拶 (公社)日本ナショナル・トラスト協会 会長 池谷奉文
 来賓挨拶 環境省 大臣官房審議官 正田 寛 氏
- 10:45 活動報告 (公社)日本ナショナル・トラスト協会 事務局長 関健志
- 11:05 地域からの報告
 自然の中に眠り、森を育む ―新しいお墓のかたち「森の墓苑」―
 (公財)日本生態系協会 主任 服部仁美氏
 札幌市近郊の貴重な湿原と不法投棄 ―裁判所の判決を通して―
 認定 NPO 法人 カラカネイトトンボを守る会 会長 綿路昌史氏
- 12:25 休憩 (60分間)
- 13:25 地域からの報告
 30周年を契機とした新事業の展開に向けて
 認定 NPO 法人 霧多布湿原ナショナルトラスト 理事長 三膳時子氏
- 14:05 講演
 ピーターラビット・シリーズの舞台：
 湖水地方の美しい風景とビアトリクス・ポター
 大東文化大学 英米文学科 教授 河野芳英氏
- 14:50 閉会挨拶 (公社)日本ナショナル・トラスト協会 副会長 漆畑信昭

第二部 B1F ライブラリーダイニング日比谷

- 15:00～17:00 交流会

第一部

開会挨拶

(公社)日本ナショナル・トラスト協会
会長

池谷 奉文



本日は、お忙しい中、全国大会にお集まりいただきありがとうございます。開催に当たり、ご後援をいただいた環境省とご協賛いただいた企業の皆様に深く感謝申し上げます。

トラスト活動は今から120年ほど前にイギリスで始まりました。この活動は、多くの方々の支援のもと発展していますが、特に絵本ピーターラビットの作者で有名なビアトリクス・ポターはナショナ

ル・トラストの熱心な支援者で、自身もトラスト活動に尽力しました。今年はビアトリクス・ポターの生誕150周年です。記念講演として、大東文化大学の河野先生にお話をいただきたいと思います。

当協会は、2007年からトラスト地の取得を開始し、現在1,721haの土地を所有していますが、まだまだ十分とは言えません。今ある自然を確実に守り、日本を持続可

能で豊かな国にするため、今後も積極的にトラスト活動を推進し、全国一の土地持ちになりたいと思います。

近年、全国の山々、川を見ると野鳥が大変少なくなっています。北海道の釧路湿原に先日行きましたが、昔はたくさん聞こえた野鳥のコーラスがなく風の音しか聞こえませんでした。日本は本来、野鳥が多い自然豊かな国であったはずなのに、全国的に「緑」はあるけれど「自然」がないという状況になっています。私どもの活動は、非常に重要な日本の国づくりのベースを担っていますので、今後とも、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

今年で34回目となる全国大会が、こうして多くの皆様のご参加を得て開催されますことを心よりお祝い申し上げます。さて、本日のテーマは「ふるさとの風景の保全と再生」と伺っております。環境省では、生物多様性保全上重要な里地里山を選定し2015年12月に公表したほか、生物多様性の観点から重要度の高い湿地、海域に関しても抽出し、2016年4月に公表しました。里地・里山・里海と呼ばれる人の暮らしとともに形成されてきた、日本独特の自然の風景と生態系は、活用されてこそ維持されていくものです。また、これらの風景の維持は日本の文化や自然観の継承にもつながっていきますし、訪日外国人をはじ

来賓挨拶

環境省
大臣官房審議官
正田 寛 氏



め、多くの人々を惹きつけ、地方創生にもつながる大事な地域資源でもあります。

環境省では現在、「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトとして、国民一人一人が日々の生活の中で自然の恵みを意識し、保全の取り組みを国民全体で支えていく仕組みづくりを検討しています。ナショナル・トラスト活動は、地域の住民や国民が森里川海を支え、美しい風景地や豊かな生態系を次世代に伝えていく大変重

要な取り組みであると認識しております。環境省としましては、生物多様性基本法、地域連携促進法、そして地域自然資産法においても規定されていますとおり、今後ともナショナル・トラスト活動の推進に向け努力をまいります。

最後に、我が国のナショナル・トラスト活動のますますの発展を祈念しご挨拶とさせていただきます。

活動報告

(公社)日本ナショナル・トラスト協会
事務局長
関 健志



現在、33団体が当協会の構成メンバーとして参加し、全国各地で様々なトラスト活動を展開しています。当協会自らもトラスト地の取得を進めており、今年度は新しく、彦根(滋賀県)、北軽井沢(群馬県)、昆布岳(北海道)、富士宮(静岡県)、下呂(岐阜県)の5カ所を取得しました。これらはすべて個人からの土地のご寄付です。

また既存のトラスト地では、埼玉県両神山トラストで野生生物等の現地調査を行ったほか、沖縄県石垣島の白保アオサンゴ・トラストの維持管理や周辺の保全について、地元NPOとの情報交換を行いました。

(公財)自然保護助成基金との共催によるナショナル・トラスト

活動助成は12年目を迎え、今年度はNPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会と(公社)生態系トラスト協会によるトラスト地取得費用を助成しました。

普及啓発については、エコプロへの出展や中学生の職場訪問の受け入れ、出前授業、ウェブサイトの運営等のほか、各企業の募金プログラムへの参加、社会貢献型の自動販売機の設置等に取り組みました。また、環境省中国四国地方環境事務所による「瀬戸内海的环境保全を目指す企業向けESDプロジェクト」の事務局を担当し、岡山県内の4企業を対象に社会貢献や人材育成のモデルプログラムづくりを支援しています。



両神山トラストでの現地調査



海から見た白保アオサンゴ・トラスト



自然の中に眠り、森を育む — 新しいお墓のかたち「森の墓苑」 —

(公財) 日本生態系協会 主任 服部 仁美 氏



当協会ではこれまで、森などを買い取り、その豊かな自然を守るナショナル・トラスト事業を行ってきましたが、自然が破壊された場所を買い取り、その自然を再生しながら守ることの重要性も感じていました。一方で、首都圏では墓地開発による自然破壊が進んでおり、この2つの課題を解決する取り組みとして墓地事業を立ち上げました。

「森の墓苑」は2016年2月、千葉県長南町の土砂採掘跡地に開苑しました。これは墓石の代わりに樹木を植え、生態系を育むことにより、かつて開発で失われた森を再び取り戻そうとするものです。開苑までには、土地探しや周辺集落への説明等を経て2年ほどかかりました。

広さ36,000㎡のトラスト地のうち、墓苑区画3,500㎡には個別

墓と合葬墓があり、7つのエリア、計1,400区画の中から好きな区画を選ぶことができます。個別墓は横1m×縦1.5mの区画に遺骨を埋葬し(2名まで可)、植樹する樹木は23種類の在来樹木から好みのものを選ぶことができます。合葬



遺伝子にこだわり地域に自生する種類の木の苗を育てている。

墓にはシンボルツリーが植えられていて、それを取り囲む約50cm四方の区画に1名ずつ、ご遺骨を埋葬します。

50年後には森の墓苑がひとつの森として管理されるようになり

ますが、その後も本来の自然の姿を取り戻せるように森を育てる手助けをしていきたいと考えています。

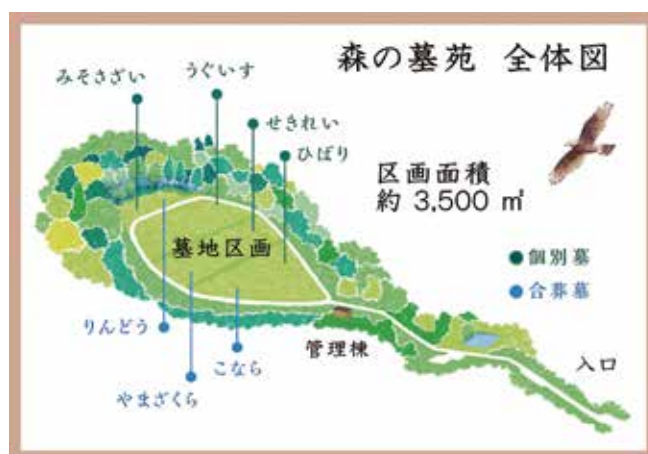
近年、長寿社会の日本において「お墓選び」には、様々な選択肢が現れてきました。この「森の墓苑」もひとつの新しいお墓のかたちとして、多くの皆様にご検討いただければと思います。



周辺の山の春の様子。将来はこの周辺の山々とながら森となることを目指す。



墓苑の様子。写真中央の区画はシンボルツリーが植えられる合葬墓。



坂道を登っていくと階段状に大きく3つに分かれた区画が広がる。

地域からの報告

札幌市近郊の貴重な湿原と不法投棄 — 裁判所の判決を通して —

認定 NPO 法人 カラカネイトンボを守る会 会長 綿路 昌史 氏



当会は、札幌の市街地に近い立地ながら多くの動植物が生息する貴重な湿原、篠路福移湿原で、希少種カラカネイトンボの保全や環境教育、自然再生など様々な活動を行っています。



カラカネイトンボ

しかし10年程前、この篠路福移湿原にあるトラスト地で、業者による不当な土砂の埋め立てが始まりました。埋め立てをやめてほしい思いを込めて立てた看板は踏み倒され、ひび割れた地面では乾燥化が進み、今も湿地への悪影響は続いています。業者と交渉も行

いましたが決裂し、裁判をすることになりました。

一審では、残土の不法投棄の差し止めと撤去費用を求めましたが、トラスト地周辺の湿原への残土搬入までは止められなかったため、土壌環境の更なる悪化が懸念されることや、残土撤去費用の賠償が不十分であることから控訴しました。

二審では、仮想市場法を用いた湿地の経済評価の結果と、GPS等を使用した所有地の簡易測量の図面を提出しましたが、数千万円かかるであろう土地の測量を課せられました。「土地の特定」が争点となった判決でした。この判決が通ってしまえば、原野や山林など土地の境界線の特定が事実上難しい土地を守ることができなくなると危惧し、最高裁への上告を決めました。しかし、「憲法違反ではない」という理由で棄却され、全面敗訴が確定しました。

という理由で棄却され、全面敗訴が確定しました。

判決を通して見えたことは、一度土地を改変されてしまうと止めることが難しいということです。土地の特定が難しい自然地の所有権は法的に守られていないので、自然環境を守るには、物理的な侵入抑制対策の他に、土地を特定する方法と法律の整備が重要です。また、自然がもたらす生態系サービスの価値の認知度の向上と、それらを享受する権利の確立が必要だと感じています。

裁判は終結しましたが、次世代の子どもたちに今ある自然環境を残すという使命感のもと、これからも活動を続けていきます。



黄緑の部分はトラスト活動によって購入した土地だが、業者により埋め立てられてしまっている。



地権者の了解も不十分なまま業者による埋め立ては進められ、美しかった湿原は悲惨な状況に変化してきている。

30周年を契機とした 新事業の展開に向けて

認定 NPO 法人 霧多布湿原ナショナルトラスト 理事長 三膳 時子 氏



「この湿原を未来の子供たちへ」というスローガンを掲げた私たちの保全活動は30周年を迎えました。活動拠点である浜中町は、霧多布湿原と酪農と漁業の町です。牛乳はアイスクリームの原料として使用され、昆布を餌とする養殖ウニは大変おいしいと評判です。



霧多布湿原は「花の湿原」と言われており、6月末からは幻想的な白いワタスゲの大群生が見られ、次にエゾカンゾウの黄色い花、続いてノハナショウブが咲き誇ります。湿原が白・黄・紫色に移り変わり、とても美しい風景が望めます。

す。また、名前の通り霧がたくさん出る土地ですが、霧にけむる風景もとても神秘的で美しいです。



1986年に数人の仲間と始めた活動が30年目を迎え、今では3,168haの霧多布湿原の中の929haをトラスト地として保全しています。土地を借りることから始まり、17年程前から土地の買い取りを始めました。当初は多くの地主さんから断られましたが、30年という年月、霧多布湿原を守ることだけを考えて活動を続けてきたことで、地主さんや地元住民の

方たちの意識も変わり、土地の譲渡に進んで協力してくださる方が増えました。

今年から、廃校となった小学校の校舎を町から借り受けたので、特産品を活かしたツアーや環境教育など様々な催しの場として活用し、多くの人に霧多布湿原の良さを知っていただきたいです。そして、町の生活や産業・自然・歴史など、浜中町が本来持っている基盤を活かし、観光や町づくりにつなげていくため、新たな活動を展開していきたいと思っています。



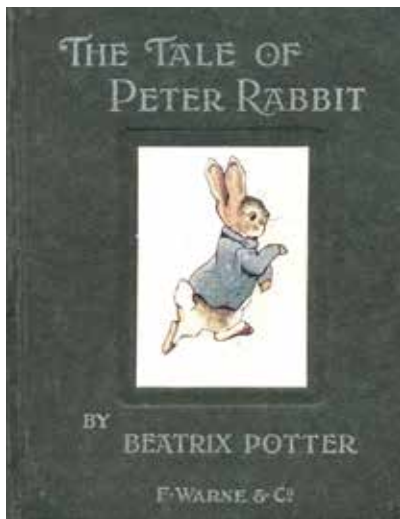
講演

ピーターラビット・シリーズの舞台： 湖水地方の美しい風景とビアトリクス・ポター

大東文化大学 英米文学科 教授 河野 芳英 氏



『ピーターラビットおはなし』の作者として有名なビアトリクス・ポターですが、英国では画家として、自然保護活動家として、生き方そのものがとても敬愛されています。



『ピーターラビットのおはなし』初版

ビアトリクスはロンドンの裕福な家庭に育ち、家庭教師に勉強を教わっていたため、友達と遊ぶと

いうこともなく、爬虫類をはじめ様々な小動物を飼って名前を付けて遊んだり、絵を描いたりして過ごしていました。そして、毎年避暑に行っていた湖水地方の風景と生活にひかれ、やがて移り住んで大好きな田舎暮らしを始めます。

絵本『ピーターラビットのおはなし』は、家庭教師の息子ノエル少年への病気見舞いに書いた4匹のかわいい子ウサギの絵手紙がきっかけで生まれました。多くの出版社から断られて最初は自費で出版しましたが、「色づかいに妥協しない」「こどものお小遣いで買える値段」「こどもの手のひらにおさまるサイズ」という三つの約束を守ってくれるロンドンの出版社と契約し、世界中に広がっていきました。23冊の絵本には、ビアトリクスが暮らした湖水地方の風景や建物が挿絵として描かれて

おり、世界中のファンが今なお残るその場所に会いに訪れます。

ビアトリクスは、16歳の頃にバカンスを過ごしていた湖水地方で「英国ナショナル・トラスト」の設立者の一人、ローンズリー牧師に出会い、自然保護をはじめ地質学や考古学など大きな影響を受けます。そして、産業革命の開発の波から湖水地方の美しい風景を守るために、ナショナル・トラストに絵本の印税やグッズの売り上げを寄付し、自らも戦略的に多くの土地を購入しました。77歳で亡くなる時には、生涯かけて取得した4,300エーカー（およそ東京ドーム390個分）の土地と建物のすべてを、英国ナショナル・トラストに遺贈しました。そのおかげで、今なお、湖水地方の自然豊かな風景とピーターラビットの絵本の世界がそのまま残されているのです。



ノエル少年への絵手紙



湖水地方のニア・ソーリー村

BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2017

閉会挨拶

(公社)日本ナショナル・トラスト協会
副会長

漆畑 信昭



日本国内で自然保護について質問しますと、大多数の方は必要だとおっしゃいますが、実際に活動をする方は5%にも満たないそうです。こうした背景の中で、日本ナショナル・トラスト協会の前身である「ナショナル・トラストを進める全国の会」が1983年に発足した当時、ナショナル・トラストに対する考えは非常に浅く、活動を続けるのも厳しい状況でした。

しかし最近では土地の寄贈や買い上げが進み、協会のトラスト地も1,721haにまで広がりました。また自然保護助成基金のご協力で、各団体にも助成金を年に1～2回出せるようになり順調に活動が進んでいます。

一方で、イギリスと比較すると日本の活動はまだ小さく、はるか彼方を先行している状態です。私たちはそれに追いつくようにがん

ばらなければいけません、至難の業です。特に最近、中国の資本による水源涵養地の買い上げが進んでいるという話もあり、このような事態を防ぐためにも私たちはナショナル・トラストを強力に進めて、美しい国土を守らなければならないと思っております。

前途程遠し、思いを雁山の暮の雲に馳す。

(※平家物語で薩摩守忠度が都落ちの際に口ずさんだ詩。前途の困難さを歌った内容。)

以上、どうもありがとうございました。



美しさを創り出すことで、
生活・文化の向上に貢献します

株式会社 日本色材工業研究所

河出書房新社

KAWADE SHOBO SHINSHA

第二部

交流会には、講演者の方々をはじめ、各地のトラスト団体・自然保護団体の関係者や支援者の皆様など、54名の参加がありました。各地のトラスト団体による近況報告のほか、参加者同士の情報交換や交流が賑やかに行われました。

参加団体（50音順）

NPO 法人 大平宿をのこす会

（公財）柿田川みどりのトラスト

（公財）かながわトラストみどり財団

（公財）鎌倉風致保存会

認定 NPO 法人 カラカネイトンボを守る会

認定 NPO 法人 霧多布湿原ナショナルトラスト

（公財）埼玉県生態系保護協会

認定 NPO 法人 穴塚の自然と歴史の会

（公財）自然保護助成基金

（公財）妻籠を愛する会

NPO 法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会

NPO 法人 ナショナルトラスト・チコロナイ

（公財）日本生態系協会

（公財）日本野鳥の会

（公財）庭野平和財団

はちのへ小さな浜の会

NPO 法人 比企自然学校



公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル
Tel.03-5979-8031 Fax.03-5979-8032
2017 年 3 月発行 禁無断転載

信託で守る ナショナル・トラスト

信託とは、英語で“トラスト”——
三井住友信託銀行では
信託を通じ、トラスト地の購入を支援しています。



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、

実現してきたデザインや技術は、

現代に伝統として受け継がれています。

竹中工務店は、その伝統を尊びながら、

常に新しい価値や試みを取り入れ、

革新的なデザインや技術を

創り出すことを目指しています。

人と自然が共に豊かになるには

どうしたらいいのか、

未来の環境をつくる使命を持って

新しい建築を世に送りだしていきたい。

そして、10年後、20年後、100年後、

その建物が「新しい伝統」になり、

未来の建築家たちの

礎になることを願っています。

「最良の作品を世に遺し、

社会に貢献する」

竹中工務店は、この経営理念のもと、

建築の可能性を追い求めていきます。

写真：竹中大工道具館 設計施工：竹中工務店
兵庫県神戸市、六甲山の麓にある日本で唯一の
大工道具の博物館。

想いをかたちに 未来へつなぐ

 **TAKENAKA**